

平成 30 年度 関西女性活躍推進フォーラム共催事業（開催実績）

H31.2.13 現在

事業名	① 大学生等との意見交換会	② 大学への出前講座	③ 男性管理職対象セミナー	④ しごと力向上セミナー	⑤女性リーダー育成事業
テーマ区分	若い世代への意識啓発	若い世代への意識啓発	子育て世代の就業継続（両立支援と意識改革）	子育て世代の就業継続（両立支援と意識改革）	キャリアアップ
趣旨・内容	・「人口減少社会を克服するため、男女がともに活躍できる社会・関西について」をテーマに大学生等から政策提案を募集 ・これから働くことになる大学生等から女性活躍推進のアイデアを募り、今後の施策検討に役立てるとともにキャリアデザインの形成を促進する。	・自治体・企業で活躍する女性や人事担当者、女性活躍推進担当の職員を大学に派遣し、男女を問わず学生のキャリアデザインの形成を促進する。	・女性部下をもつ男性管理職に対して、女性社員がライフイベントを迎えたのちも活躍し、管理職を目指していくように、育成支援方策と教育支援方策等について、グループワークを通じて学んでいただく。	・若年女性の就業率の向上をめざし、女性が採用されたのち、働き続けるための“しごと力”を身につける「新たな人材育成プログラム」。8つのテーマで学びしごと力を習得することで、主体的に行動できる職業人としての自覚を形成し、「自分軸のある女性」を育成する。	・国が実施する女性リーダー育成事業について、女性役員候補者育成のためのモデルプログラムの実施を地元として協力し共催で実施
主催	関西広域連合	関西広域連合/関西経済連合会	公社）関西経済連合会	公社）関西経済連合会	内閣府（男女共同参画局）
事業の対象者	関西広域連合域内の大学生 4～6人×13グループ	関西広域連合域内の大学・大学院生等	フォーラム構成員（経済団体・自治体・大学教職員）の男性管理職層（主として課長級を想定）	フォーラム構成員（経済団体・自治体・大学教職員）の若年女性（30歳代前後を想定）	企業・大学の役員候補、社外取締役・監査役候補の士業の女性（約30名）
時期	12月1～2日、1泊2日	通年	9月19日	10月10日～1月30日 （全8回隔週）	9月以降で全6回（毎月）
場所	滋賀県大津市	各大学等	大阪市 （関経連 29F 会議室）	京都市 （京都ウィメンズベースアカデミー）	大阪・神戸 （会場分割開催で調整中）
共催者としてのフォーラムの役割	① 主催団体との連絡調整 ② 講師、審査員等の派遣協力 ③ 広報 （1）学生グループ募集協力 （2）意見交換会参加者募集協力	① 主催団体との連絡調整 ② 講師の派遣協力 ③ 参加大学の募集協力	①受講者募集（周知広報）	①受講者募集（周知広報） ②会場提供 ③研修（8回）運営補助 ④独自メニュー、交流会等企画・実施	① 国との調整、フォーラム団体との調整 ② 内閣府設置の事業内容検討のための企画委員会に出席（プログラム開催前に1回、及び終了時に1回（いずれも時期未定） ③ 研修プログラムに沿う地元企業等講師（経営層）の派遣（候補の提案、本人への依頼）（5回） ④ 会場探し ⑤ 広報（受講者確保） ⑥ 研修(6回)運営補助（主は委託業者） ⑦ 独自メニュー企画・実施
実績	【意見交換会参加チーム数】 10大学11チーム	【派遣大学数】 2大学（同志社大学、四国大学短期大学部）	【受講者数】 53名	【受講者数】 21名	【研修受講者数】 37名

事業名	⑥女性中核人材育成研修	⑦ 明日のビズ初を担う女性たちの交流会	⑧ 女性研究者ネットワーク「キャリアカフェ」開催	⑨ 関西女性活躍推進シンポジウム (国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業)	⑩ OSAKA 女性活躍推進 ドーン de キラリフェスティバル 2018
テーマ区分	キャリアアップ	キャリアアップ	キャリアアップ	機運醸成・意識啓発	機運醸成・意識啓発
趣旨・内容	女性が企業の意思決定に関わることに重要であることから、女性の中核人材候補を育成するため、企業の女性管理職を対象に、経営に関する知識や技術、リーダーシップ等の向上を図る。	・自治体・企業で働く中堅女性のキャリア形成支援の機会を提供	・女性研究者が日々感じる課題やキャリアパスに関して、コミュニケーション強化と情報共有を図ることで、文理の違いや産学の枠を超えて交流を促進 ・関西で活躍する女性研究者の離職防止など支援をめざす。	企業や地域団体等において、女性の参画拡大に対する理解を増進させること、就労前の大学生等にも当事者意識をもって男女共同参画社会の実現に関与してもらうことを目的にシンポジウムを実施	「女性がもっと輝く OSAKA」実現に向け、シンポジウムによる機運醸成や各種セミナーによる意識啓発、合同企業説明会による就職支援等を実施
主催	輝く女性応援京都会議	(公財)21 世紀職業財団	日経ウーマニクス・プロジェクト実行委員会	内閣府、ひょうご女性の活躍推進会議 関西女性活躍推進フォーラム、関西広域連合、 関西経済連合会、連合近畿地方ブロック連絡会	大阪府、OSAKA 女性活躍推進会議
事業の対象者	企業・大学の役員候補、社外取締役・監査役候補の士業の女性（約 30 人）	企業・自治体・団体等の中堅女性社員（150 名）	産学の女性研究者、学生、院生（各大学 30～100 名程度）	一般市民（企業経営者・企業管理職・教育・大学関係者、大学生等を中心に）、地方自治体職員、主催フォーラム関係団体	企業経営者・管理職、女性労働者・求職者、生徒・学生、住民
時期	平成 30 年 9 月以降 6 回	平成 30 年 10 月 23 日（火）	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月	平成 31 年 2 月 13 日（水）	平成 30 年 9 月 7 日～8 日
場所	京都市（京都ウィメンズベースアカデミー）	大阪市（国際会議場）	「ダイバーシティ研究環境整備と女性研究者の未来」協力大学のキャンパス等	神戸市（兵庫県民会館けんみんホール）	大阪市（ドーンセンター）
共催者としてのフォーラムの役割	①受講者募集（周知広報） ②フォーラム団体との調整	① 広報（受講者確保） ② 当日の運営補助（主に受付） ③ 共催分担金負担	①フォーラム参画メンバー、研究職等への告知 ・会員登録等案内 ・各種開催案内、会場情報案内	① 企画案等の検討 ② 内閣府との調整 ③ イベントの開催 ④ 広報（受講者等募集）	①広報
実績	【受講者数】 55 名	【受講者数】 191 名	—	—	【メインシンポジウム来場者数】 211 名 【2 日間のドーンセンター来館者数】 3,934 名

事業名	⑪ ともに輝くフェスティバル	⑫ 女性の活躍に向けたフォーラム	⑬ 企業セミナー	⑭ 京で輝く！ 女性活躍推進シンポジウム
テーマ区分	機運醸成・意識啓発	機運醸成・意識啓発	機運醸成・意識啓発	機運醸成・意識啓発
趣旨・内容	女性の職業生活における活躍と女性活躍に対する社会全体の意識変革を目的とした広報・啓発イベント ・女性のキャリアアップや女性リーダーに関するシンポジウム ・「男性の家庭生活における活躍」をテーマとするセミナー	女性活躍に取り組む企業の先進事例等の紹介や、管理職、女性、男性のいずれもが、意識を変えるための自己啓発講座などを行うフォーラムを開催し、女性活躍推進の取組の社会における機運醸成を図る。	企業経営者や人事担当者を主な対象として、職場における男女共同参画に関するセミナーを開催し、男女共同参画について意識啓発を図る。	企業の経営層、人事担当者等を対象として、女性の活躍推進に取り組み、働き方改革等を実践する先進企業の経営効果を共有し、考えを深める。
主催	徳島県	大阪市	神戸市	輝く女性応援京都会議
事業の対象者	管理職や男性・女性労働者等	企業の経営管理者層、働きたい・働き続けたい・キャリアアップしたい女性、男性	企業経営者や人事担当者	企業の経営層、人事担当者、管理職等
時期	平成 30 年 11 月 16 日,17 日	平成 30 年 9 月 26 日	平成 30 年 10 月 30 日	平成 30 年 7 月 26 日
場所	徳島県	大阪市（大阪市男女共同参画センター（クレオ大阪）中央館）	神戸市	京都市（男女共同参画センターウィングス京都イベントホール）
共催者としてのフォーラムの役割	①広報（参加者等募集）	①広報（参加者等募集）	①広報（参加者等募集）	①広報（参加者等募集）
開催実績	【2 日間のホール来場者数】 延べ 328 名	【パネルディスカッション、セミナー及び相談ブースの来場者数】 延べ 132 名	【セミナー受講者数】 135 名	【シンポジウム来場者数】 157 名